

Tone King Royalist Preamp

取扱説明書



正規輸入代理店

@uanta Intl.

この取扱説明書は、Tone King Royalist Preampの所有期間中、大切に保管してください。

製品を操作する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解ください。

本取扱説明書には、Royalist Preampの使用とメンテナンスに関する重要な安全情報が記載されています。

本取扱説明書に記載されているすべての警告記号や標識、および本体に印刷されている警告記号や標識に特に注意してください。



火災や感電を防ぐため、Royalist Preampを水や湿気にさらさないでください。
水源の近くで使用しないでください。



矢印の三角マークが付いた稲妻は、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」が存在することを警告するためのもので、感電の危険を構成するのに十分な大きさである可能性があります。



感嘆符の三角マークは、このRoyalist Preampに付属のユーザー・マニュアルに重要な操作およびメンテナンス（整備）の指示があることをユーザーに知らせるためのものです！

- 1 説明書を読む - 本製品を操作する前に、すべての安全および操作説明書をお読みください。
- 2 取扱説明書の保管 - 安全および取扱説明書は、将来参照できるように保管してください
- 3 警告にご注意ください - プリアンプや取扱説明書に記載されている警告は、すべて守ってください。
- 4 指示に従ってください - すべての操作および使用上の指示に従ってください
- 5 水と湿気 - プリアンプは、バスタブ、洗面器、キッチンシンク、洗濯槽、濡れた地下室、プールの近くなど、水の近くでは使用しないでください。
- 6 熱 - プリアンプは、ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、熱を発生する他のプリアンプ（プリアンプを含む）などの熱源から離れた場所に設置してください。
- 7 電源 - 本製品は、定格ラベルに記載されているタイプの電源からのみ操作してください。
- 8 電源コード保護 - 電源コードは、プラグや便利なレセプタクルに対応するコードや、プリアンプから出るコードに特に注意し、その上に物を置いたり立てかけたりして歩いたり挟んだりしないように配線してください。
- 9 不使用期間 - 長期間使用しない場合は、プリアンプの電源コードをコンセントから抜いてください。
- 10 物体と液体の進入 - 物が落下したり、開口部から液体が筐体内にこぼれたりしないように注意すること。
- 11 サービスを必要とする損傷 -
以下のような場合は、資格のあるサービス担当者にアンプの修理を依頼してください：
 - A. 電源コードまたはプラグが損傷している。
 - B. 物が落下した、または液体がアンプにこぼれた。
 - C. プリアンプが雨にさらされた。
 - D. プリアンプが正常に動作しない、または性能に著しい変化が見られる。
 - E. プリアンプを落としたり、筐体が破損した。
 - F. プリアンプに真空管の交換またはバイアスが必要な場合。
- 12 修理 - 使用者は、取扱説明書に記載されている以上の修理をプリアンプに対して行わないでください。
その他の整備はすべて、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 13 換気 - キャビネットのスロットと開口部は、換気のために設けられ、製品の信頼性の高い動作と過熱からの保護を保証します。
開口部を塞いだり、覆ったりしないでください。ベッド、ソファ、敷物などの上に製品を置いて開口部を塞いではなりません。本製品は、本棚やラックなどの作り付けの場所に設置しないでください。
- 14 交換部品 - 交換部品が必要な場合、サービス技術者がメーカー指定の交換部品を使用しているか、元の部品と同じ特性を持っていることを確認してください。無許可の代用品は、火災、感電、その他の危険を招く恐れがあります。
- 15 安全チェック - 本製品のサービスまたは修理が完了したら、サービス技術者に安全チェックを依頼し、製品が適切な動作状態にあることを確認してください。

本装置は、FCC 規則パート 15 に従ったクラス B デジタルデバイスの制限に準拠することがテストにより確認されています。本機は、FCC 規則パート 15 に基づくクラス B デジタル機器の制限に適合しています。本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、本機器の電源を切ったり入れたりすることで判断できます： - 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変える。 - 機器と受信機の距離を離す。 - 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。 - 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者にご相談ください。

このデバイスは、FCC規則のパート15に準拠しています。

(1)このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはならない。

(2)このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければならない。

ROYALIST PREAMP – THREE TUBE HIGH VOLTAGE PREAMP

Royalist Tube Preampは、ToneKing Ampsが誇るRoyalist MKIIIアンプの魂を捉えたモデル。英国トーンの黄金期を最も忠実に再現した同社の傑作です。甘く歌うようなJTM45サウンドから、紛れもないPlexi・クランチ、そして灼熱のスーパーリード・ドライブまで。このハイボルテージ3管プリアンプは、コンパクトでペダルボードに最適なサイズながら、英国ロックの全貌を余すところなく表現します。3本の12AX7真空管を適正な高電圧で駆動するRoyalist Preampは、Royalist MKIIIアンプの完全なタッチ感度、倍音の広がり、ダイナミックなパンチをあなたのペダルボードにもたらしめます。2つの独立チャンネルそれぞれに、アンプのFATスイッチと1964/1967/1970の3ポジションボイシングセレクターを搭載。オリジナルの回路構造、トーンスタック、フィーリングを忠実に再現します。きらめくクリーンサウンド、パンチの効いたクランチ、溶岩のような轟音を求めても、Royalist Preampはプリティッシュ・ロックの紛れもない声を、どこでも、どんな音量でも届けます。

時代を反映した正確なトーンスタック

Royalist Preampは2つの同一チャンネルを搭載し、それぞれが独自のトーンスタックで鳴ります。上部チャンネルはヴィンテージ忠実なJTM45/ベースマン/スーパーベースを彷彿させるEQを採用。下部チャンネルは後期英国製リードトーンスタックを再現しています。両チャンネルは驚くほど近い設定が可能ながら、微妙な差異によりプレイヤーに2つの本物の英国風トーンを提供します。一方はタイトで明瞭、もう一方は中域を強調した特性です。

象徴的な英国の音色の3つの時代

これらのボイシングを各チャンネルの FAT スイッチ オプションと組み合わせると、シングルコイル ギターにボディと低音の暖かさを加えたり、ハムバッキングでサステインとパンチを強化したりすることができます。

1964

スムーズなトップエンド、低ゲイン、初期の英国ブルース アンプからインスピレーションを得たバランスのとれたピンテージな暖かさ。

1967

鮮明な高音レスポンス、力強い中音域、そしてロックの形成期を特徴づけるアグレッシブなビート感。

1970

ゲインとタイトネスが向上し、アリーナ対応のハードロック特有の高エネルギーのクランチ音が得られます。

Built-In Zero Watt Power Amp – Phase Inverter

Royalist Preampには、ToneKingの「ゼロワット・パワーアンプ」を搭載。これは3本の12AX7真空管のうち1本で駆動される純正の位相反転回路です。この設計により、Royalistの豊かな倍音とプリアンプ/パワーステージ間のダイナミックな相互作用を再現。真のプリティッシュ・トーンのコアであり、多くのプリアンプ・ペダルでは再現できない要素です。その結果、耳をつんざくような音量なしに、Royalistのパワーセクションがオーバードライブされた状態を余すところなく体験できます。

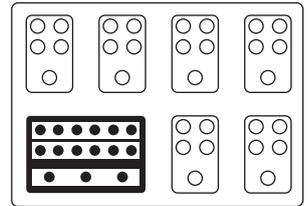
特徴

- 電源：9W以上の9V-12Vアダプターをご使用ください。
- 消費電流：800mA
- 6フィートのUSBケーブル、ユニバーサル12V電源付属
- 2チャンネル高電圧プリアンプ - DI
- 適切な高電圧で動作する3 x 12AX7プリアンプチューブ
- ゼロワットパワーアンプ内蔵 - 位相反転回路
- 2つの独立したチャンネル
 - ・ボリューム、低音、中音、高音のコントロール
- チャンネルごとに3way(1964/1967/1970) ボイシング スイッチ
- Era Accurate Toneスタック:
 - ・上段チャンネル - ピンテージ精度のJTM45 / Bassman / Super Bass風EQ
 - ・下段チャンネル - 後期プリティッシュリードトーンスタック
- デュアル内蔵アイアンマンアッテネーター
 - ・HFスイッチ
- リバーブコントロール (各チャンネルに割り当て可能)
 - ・モードスイッチでトレイルのオン/オフを切り替える
- ステレオ、シリーズ FX ループ (バイパス可能)
- MIDIプログラム可能
- 最大128個のプリセットを保存し、外部MIDIスイッチャー経由で即時呼び出し可能
 - ・プリセットの保存:
 - ・チャンネル選択
 - ・マスターバイパス設定
 - ・IR選択
 - ・IRバイパス設定
 - ・エフェクトループバイパス設定
 - ・リバーブバイパスとテール設定
- オンボードインパルスレスポンス (IR) テクノロジー
 - ・低レイテンシーのインパルスレスポンスキャビネットシミュレーション (バイパス可能)
 - ・チャンネルごとに3ポジションのCAB/IR選択スイッチ (ソフトウェアでプログラム可能)
 - ・20個のOwnHammer IRが含まれています
- ソフトウェアで編集可能なHFコンプ、ローパス/ハイパスフィルター(チャンネルごと)を備えたパワーアンプシミュレーション
- 接続:
 - ・グラウンドリフトスイッチ付きデュアルステレオバランスXLR出力
 - ・1/4インチヘッドフォン出力
 - ・エフェクト・センド/ステレオ・リターン端子
 - ・MIDI 5ピン標準コネクタ
 - ・付属のTone King Editorソフトウェアエディターで使用するためのUSB-Cコネクタ
 - ・アンプ入力/アンプセンド/アンプリターン端子
- 寸法:約18.5cm (幅) x約14.5cm (奥行き) x 約7cm (高さ)
- 重量: 約862g

PEDAL BOARD AMP - DIRECT OUT

Royalist Preampは、ポータブル・ペダルボード・アンプの代わりとして、または自宅でヘッドホンと一緒に練習用に使用できます。また、内蔵のDI出力を使用して、Royalist Preampをレコーディング・インターフェース、モニター、またはPAシステムに直接接続することもできます。

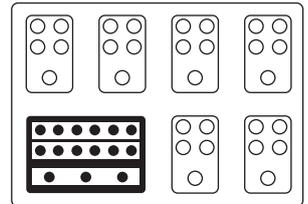
Royalist Preampは、既存のアンプを完全に置き換えることができ、妥協することなく全く同じハイ・ボルテージ・チューブ・トーンを得ることができます。



外部アンプ・プリアンプ

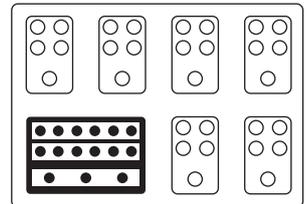
Royalist Preampの「TO AMP RETURN」をお気に入りのギター・アンプのエフェクト・ループ「RETURN」に接続して、Royalist Preampの能力を実感してください。

内蔵パワーアンプとダイレクト・レコーディング用のIRキャビネット・シミュレーションを同時に使用することができます！



パワーアンプとIRキャビネット・シミュレーター

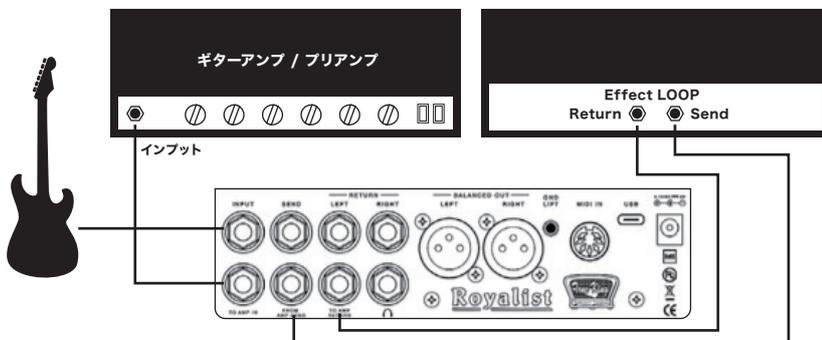
Royalist Preampを他のプリアンプに接続するだけで、IRキャビネットやアンプ・シミュレーターとしてのみ使用できます。詳しくは「Royalist Preampをヘッドまたはコンボに接続する」のセクションをご覧ください。



Royalist Preampをヘッドまたはコンボに接続する

Royalist Preampは、既存のヘッドやコンボにチャンネルを追加するために使用できます。ギターケーブルに加え、高品質のシールド付きインストールメントケーブルが3本必要です。以下の簡単な手順に従ってください：

1. ギターをRoyalist PreampのINPUTに接続します。
2. Royalist Preampの「TO AMP IN」からアンプのINPUTにインストールメント・ケーブルを接続します。
3. 「FROM AMP FX SEND」から楽器用ケーブルをアンプのFX LOOP SENDに接続します。
4. 「TO AMP FX RETURN」からアンプのFX LOOP RETURNに楽器用ケーブルを接続します。
5. BYPASSスイッチで、Royalist Preampのチャンネルを切り替えたり、BYPASSモードではRoyalist Preampのチャンネルをバイパスし、アンプのチャンネルを使用します。BYPASSモードでは、アンプは通常通り動作します。リバーブはアンプ・チャンネルで動作します！
6. Royalist PreampのEFFECTSループ (SENDとSTEREO RETURN) がシステム全体のEFFECTSループになります。MONOで接続する場合はLEFT RETURNを使用してください。

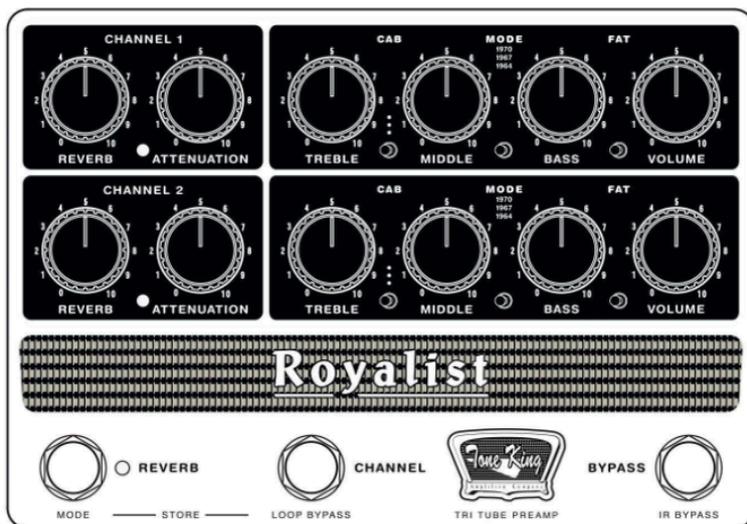


重要！

Royalist Preampをヘッド・キャビネットやコンボの上に置く場合は、アンプのメイン・トランスの反対側（通常は入力側）に置かなければなりません。Royalist Preampをメイン・トランスの上に置くと、シグナル・チェーンにノイズが入る可能性があります。

アンプにチャンネルを追加するためにRoyalist Preampを使用する場合、いくつかの特別な要件や注意事項があります。アンプのループは100%シリーズ・ループでなければなりません。Royalist Preampはパラレル・ループでは動作しません。疑問がある場合は、アンプのメーカーに相談してください。既知の問題として、Mesa DualとTriple Rectifier、Road King、Roadsterアンプでは、ループ内でRoyalist Preampが正しく動作しないことがあります。設計上、これらのモデルのBoogieループには、常に少量のドライ信号がループに混ざっており、Royalist Preampだけでなく、多くのラック・エフェクトを大混乱に陥れます。私たちが知らないだけで、互換性のないループを持つアンプが他にもあるかもしれません。

フロントパネルのコントロールと接続



CONTROLS

REVERB	リバーブのミックスコントロール。
ATTENUATION	フェイズ・インバーター - パワーアンプ・シミュレーションの後に、信号をどれだけ減衰させるかを決定します。マスター・ボリューム・コントロールとして使用します。

REVERB FOOTSWITCH

短押し：リバーブをOn/Off
長押し：リバーブテールをOn/Off

CHANNEL FOOTSWITCH

短押し：Channel 1、Channel 2を切り替えます。
長押し：LOOP BYPASS。

IR BYPASS FOOTSWITCH

短押し：TRUE プリアンプをバイパスします。バイパス・モードでは、現在のチャンネル・インジケータが点滅します。
長押し：IR BYPASS。これは、アンプにチャンネルを「追加」するために使用できます（本マニュアルの「Royalist Preampをヘッドまたはコンボに接続する」のセクションをご参照ください）。

STORE

MIDI STORE: REVERBボタンとCHANNELボタンを同時に長押しすると、現在のプリセットをアクティブなMIDIプリセット番号に保存します。これにはCHANNEL、REVERB、LOOP BYPASS、IR/CABの設定が含まれます。

ペダル上で直接保存: CHANNELを選択し、そのCHANNELでリバーブ、IR、ループをON/OFFに設定した後、REVERBとCHANNELボタンを同時に長押しして保存します。両チャンネルでこの操作を行ってください。設定内容はCHANNEL1またはCHANNEL2に保存されます。

HF COMPとLOWPASSを含むパワーアンプの設定は、付属のTone King Editorソフトウェア（SYNERGYで動作）を介してチャンネルごとに保存できます。

MAIN CONTROLS:

CAB SWITCH 3way・キャビネット/IRプリセット・セレクター。

MODE 1964 /1967 / 1970
Preamp Eraのボイスングを選択します。

FAT 最初のプリアンプ増幅ステージでより多くの低域周波数を許容させます。

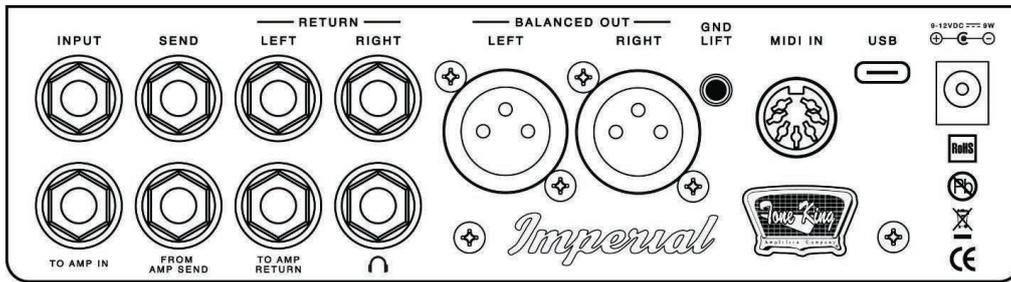
TREBLE 高域の量をコントロールします。

MIDDLE: 中域の量をコントロールします。

BASS 低域の量をコントロールします。

VOLUME チャンネルの音量を調節します。

リアパネルのコントロールと接続



INPUT

これはRoyalist Preampのギター入力ジャックです。ギターまたはペダルボードの出力をここに接続します（アンプと同じように）。

MASTER EFFECTS LOOP

SEND JACK

システムのマスター・エフェクト・ループです。
SEND - エフェクトのINPUTを接続します。

STEREO RETURN JACKS

エフェクトの OUTPUT を接続します。
MONO で操作する場合は LEFT 端子を使用します。
高品質なシールド・ギター・ケーブルをご使用ください。

LOOP BYPASSスイッチでLOOPのON/OFFができます。

HEADPHONES

ヘッドホン端子。ヘッドホンを装着する前に必ずマスターボリュームを下げ、耳への負担が大きくなりすぎないよう、ゆっくりとお好みのレベルまでボリュームを上げてください。

Royalist Preampをギターとヘッドホンのみで使用する場合、付属のような通常の非アース電源を使用すると、家のアースに接続されず、環境によってはギターがノイズ (HUM) を拾う可能性が高くなります。ノイズのないサウンドをお楽しみいただくには、SEND、RETURN、BALANCED OUT、USBをアンプ、オーディオ・インターフェース、モニター、エフェクターなどのアース付き機器に接続してください。主な用途に使用する場合は、アース付き電源の使用をご検討ください。

MIDI-IN

外部MIDI機器でRoyalist PreampをコントロールするためのMIDIコネクタ（デフォルト・チャンネルはOMNI）

DC INPUT

DC入力電源コネクタ、9V~12Vアダプター（センターマイナス）を使用。
消費電流：800mA

BALANCED OUTPUTS

XLR出力は、Royalist Preampのトーンをミキシングボードやアクティブキャビネットに直接送るために使用します。
これらの出力にはIRとPOWER AMP simが出力されます。IRはバイパスできます。

GND LIFT

BALANCED OUT のグラウンド接続を有効または 無効にするスイッチです。

TO AMP IN、FROM AMP SEND、TO AMP RETURN

本マニュアルの「Royalist Preampをヘッドまたはコンボに接続する」のセクションをご参照ください。

TO AMP IN

インストゥルメント・トゥルー・バイパス出力。外部プリアンプやギターアンプのインプットに接続し、チャンネルを拡張します。BYPASSモード時のみ有効です。

FROM AMP SEND

外部プリアンプのOUTPUT、または外部ギターアンプのSENDに接続し、チャンネルを拡張します。BYPASSモード時のみ有効です。

TO AMP RETURN

外部ギターアンプのRETURNに接続し、チャンネルを拡張します。TO AMP RETURNはBYPASSモードに関わらず常にアクティブです。

また、このジャックをギター・パワーアンプの入力として使用し、Royalist PreampをDI/レコード・インターフェースとして、またパワーアンプをモニタリング用として同時に使用することもできます。

USB

ソフトウェア・アップデート、Royalist Preampのリモート・プログラミング、外部機器からRoyalist PreampのヘッドフォンやDI出力へのAUDIOストリーミング用USBコネクタ。

TONE KING EDITOR SOFTWARE (トーンキング エディターソフトウェア)



トーンキングエディターソフトウェアのダウンロードは www.toneking.com (ToneKing本国サイト) をご覧ください。付属のTone King Editorソフトウェアは、デジタルパラメータの高度な編集機能を実現します。MIDI経由で最大128のプリセットを保存・呼び出し、チャンネルごとにIRを割り当て、HF/LPフィルターを微調整、リバーブやFXループの割り当てを設定可能。これらすべてを直感的なインターフェースで操作できます。

- チャンネル切替とバイパス状態
- 独自のIRを簡単にロードしIRライブラリを管理
- IRバイパスとパワーアンプシミュレーションオプション
- HFコンプレッサーとローパスフィルター
- 付属のOwnHammer IR全20種類にアクセス
- ペダルの6つのスロットに任意のIRを割り当て可能 (各チャンネル3スロット)
- リバーブ、リバーブテール、エフェクトループバイパスルーティング
- MIDI経由で即時呼び出し可能な最大128プリセットへの設定保存

インパルスレスポンス (IR) キャビネット&パワーアンプシミュレータ

Royalist Preampは、トーンキングの低レイテンシーIRとパワーアンプシミュレーションエンジンを搭載し、FOH、レコーディングインターフェース、ヘッドフォンへのダイレクト出力を驚くべきリアリズムで実現します。下記にリストアップされた厳選されたOwnHammer IRがプリロードされており、各チャンネルには3way IRセクターを装備し、瞬時のトーンチェンジを可能にします。

OH 412 Pinstripe H25

1967年製の Celestion G12H-25 を、OwnHammer の Kevin Rowe が、Shure SM57、Telefunken MD421、および Royer 121 マイクと1970年代中期から後期の API 312 プリアンプを使用して、Pinstripeの 1982B 4x12 キャビネット で録音しました。

OH 112 Imperial TK1660

Tone King 1660 は、OwnHammerのKevin Roweが、Shure SM57、Neumann U87、および Royer 121 マイクと 1970 年代中期から後期の API 312 プリアンプを使用して Tone King Imperial 1x12 コンボで録音しました。

OH 412 M75BB

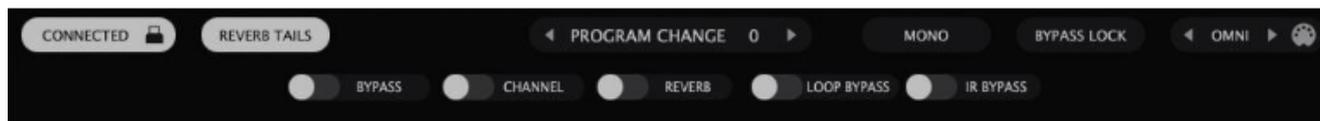
1975年製、16Ω、1777 cone Celestion "black back" G12M-75 を、OwnHammerのKevin Roweが Shure SM57 および Sennheiser MD421 マイクと1970年代中期から後期のAPI 312 プリアンプを使用して412 キャビネット で録音しました。

FIRMWARE UPDATES

エディターソフトウェアは、インターネット接続を使用している場合、デバイスのファームウェア・アップデートを自動的にチェックします。

注意 ファームウェア・アップデート中はRoyalist Preampの接続を切ったり、電源を落としたりしないでください。

TOP PANEL CONTROLS



CONNECTION

Royalist Preampの接続状態を示します。

PROGRAM CHANGE

セクターを使用すると、保存可能な128のMIDIプログラム・チェンジとその関連設定をすべてナビゲートできます。これは接続されたRoyalist Preampとアクティブに相互作用し、デバイスのプリセットを切り替えることもできます。

MIDI CHANNEL

MIDI CHANNEL はRoyalist Preampが使用する MIDI INPUT チャンネルをプログラムします。デフォルトはOMNI モードです (Imperial Preampはすべてのチャンネルでメッセージを受信します)。

REVERB

REVERBTグル・セクターでREVERBのオン/オフを切り替え。

MONO

アウトプットの信号をStereoかMonoに選択。

IR BYPASS

IR BYPASSトグルセクターでIRキャビネットシミュレーションのオン/オフを切り替え。

REVERB TAILS

プリセットやチャンネルを変更する際に、リバーブテールをアクティブにするかどうかを選択します

BYPASS LOCK

不要なときにBYPASSスイッチをロックして、誤ってプリアンプをバイパスしてしまうのを防ぐことができます。

BYPASS

BYPASSトグルセクターでBYPASSモードのオン/オフを選択。

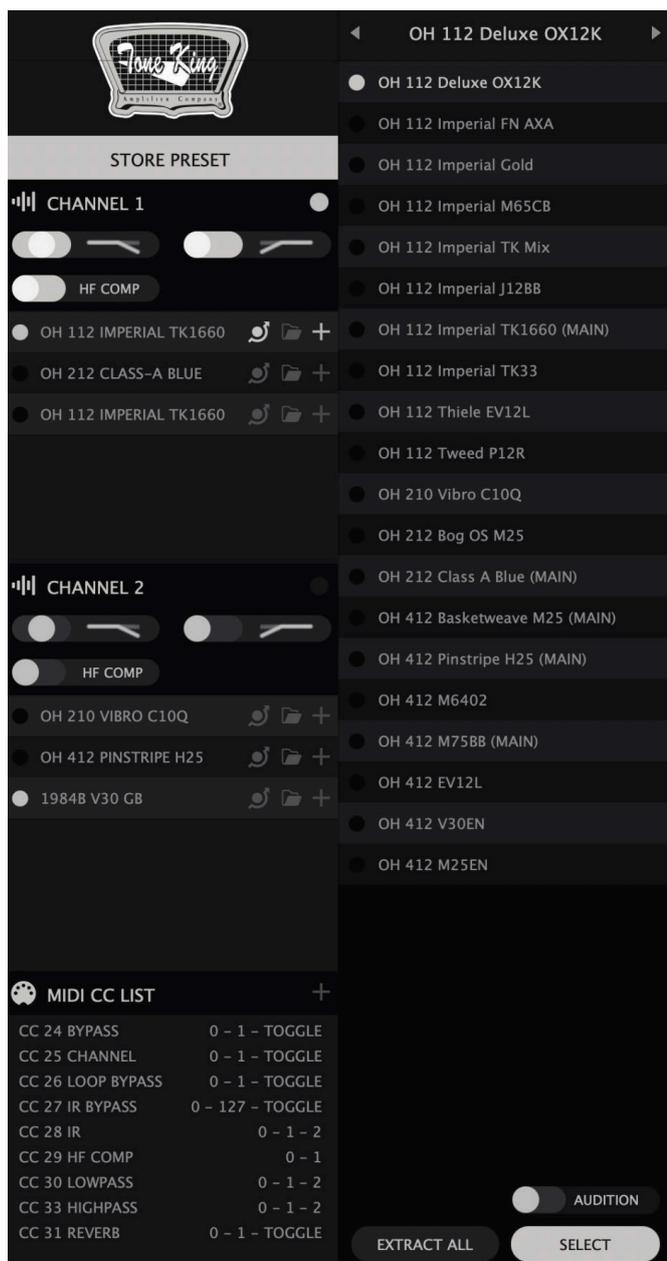
CHANNEL

CHANNELトグルセクターでRHYTHMチャンネルとLEADチャンネルを切り替え。

LOOP BYPASS

LOOP BYPASSトグルセクターでFX LOOPを切り替え。

SIDE PANEL CONTROLS



STORE

STORE を使用すると、各プリセットに加えられたすべての変更が本機内部に保存されます。変更した内容は、Royalist Preampの電源を切る前に必ず STORE してください。

HF COMP

HF COMP (PER CHANNEL) は、アッテネーターによる高域のロスを補正します。

LOWPASS

LOWPASS (PER CHANNEL) では、3段階のローパスフィルターを選択できます。

HIGHPASS

HIGHPASS (PER CHANNEL) では、3段階のハイパスフィルターを選択できます。

IR SELECTOR

IR SELECTOR (PER CHANNEL) 選択されたチャンネルにプリロードされた3つのIRから1つを選択します。

IR BYPASS MODE

 左記アイコンでバイパスモードのIRを選択できます

IR LOADING

IR LOADING (PER SLOT) フォルダーボタンを選択するだけで、お好みのIRをロードできます。対応フォーマットはWAV 44.1K~96Kです。

PLUS

PLUSボタンを押すと、20個のOwnHammer製カスタムIRからなる内部ライブラリにアクセスできます。

EXTRACT ALL

EXTRACT ALLにより、20個のOwnHammer製カスタムIRをドライブに保存し、お好みのプラグインで使用することができます。

AUDITION

AUDITIONボタンを押すと、現在表示されているIRが自動的に読み込まれます。

MIDI CC

MIDI CC: Royalist Preampは、「MIDI CC LIST」ソフトウェアにリストされているMIDI CCコマンドをサポートしています。

保証

Tone Kingをお買い上げいただきありがとうございます。Tone Kingは、世界で最も信頼性が高く、革新的なギター製品を製造しています。Tone Kingは、出荷前の各製品に対して、極めて徹底したテストを実施していることに誇りを持っています。万が一、プリメインアンプに不具合が生じた場合は、付属の保証書・保証規定及び下記をご参照ください。

PRE-AMP

Tone Kingの保証を利用するには、購入証明書を保管してください。本保証は、事故、怠慢、乱用、通常および摩耗、災害、誤用、乱用、過度のパワーアップ、過失、不適切な梱包または発送手順、Tone Kingが書面で承認または承認していないサービス、修理、製品への改造によって生じた損傷を修理するためのサービスや部品には適用されません。**改造は保証を無効にします。**
本製品が上記の保証のとおり材料または製造上の欠陥がある場合、修理または交換となります。

**注意：ご自身で製品の修理、改造、サービスを行わないでください！
すべての安全に関する通知、警告、指示については、取扱説明書をお読みください**

このTone Kingプリアンプには、重大な人身事故を引き起こしかねない非常に高い電圧がかかっています。本機からシャーシを取り外さないでください。すべての修理およびサービス作業は、販売店を通して代理店の許可の元、行って下さい。許可なく修理を行った場合、保証は無効となります。保証期間内に修理されなかった場合、保証は無効となります。

チューブ

Tone Kingは、Tone Kingに使用されている特定のチューブが、購入日から90日間、材質および製造上の欠陥がないことを、最初の購入者に保証します。日付入りの販売レシートがあれば、この保証の適用範囲となります。この真空管保証は、最初の小売販売日から90日後に自動的に終了します。この真空管保証は、他のすべての明示的な保証に代わるものです。90日間の保証期間内に真空管が故障した場合、販売店へ連絡の元交換または修理を行って下さい

偶発的または結果的損害

Tone Kingは、いかなる場合においても、Tone King製品の使用または使用不能から生じる偶発的または派生的損害について、たとえTone Kingのディーラーがそのような損害の可能性について知らされていたとしても、あるいは他のいかなる当事者によるその他の請求についても責任を負いません。

Tone Kingを選んでいただき、ありがとうございます！



正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>

